

## 川沿いの風景…

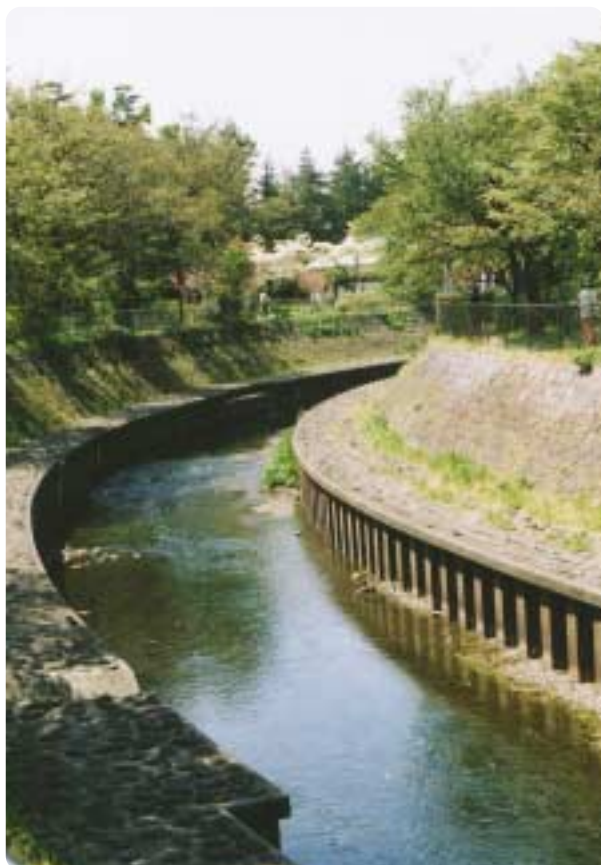
### 今昔

武蔵野台地に位置する杉並は、水源に恵まれ「善福寺川、神田川、妙正寺川」などの川があります。更に一昔前までは、飲料水確保のため「玉川上水・千川上水」などの上水道も流れていましたが、今はそのほとんどが暗渠に姿を変え「せせらぎ」が見えない遊歩道になってしまったのが残念です。

善福寺川を訪ねてみましょう。原野と森林のなかに豊富な湧き水の出ている藪の生えた窪地が善福寺池になったと云われています。この周辺には、井之頭池・三宝寺池・石神井池など恵まれた湧水で出来た池が多く点在しています。昭和20年代の後半までは豊富な湧き水で池には、フナ・コイ・ナマズ・ウナギ・メダカ・ゲンゴロウ・ミスズマシなどが、水草の中をスイスイと泳いでいました。池尻の水門からの流れが善福寺川の出発点です。この頃は、川も自然のままに川岸には木々や雑草が生い茂り、水田や畑に恩恵を与え、ポツンポツンとある家並みのなかを大きく蛇行しながら和田一丁目まで神田川と合流し東京湾にそそいでいました。当時は梅雨どきに大雨が続いたり、

大型の台風が来ると善福寺川があふれ床下浸水で、慌てる光景も度々… 現在はコンクリートで固められた何の変哲も無い側溝になってしまい、川の景色は一変してしまいました。

野鳥が囀り飛び交う善福寺池尻からコンクリートで固められた殺風景な川辺の散歩道を下流へ散策してみませんか？ 環八を過ぎてしばらくすると善福寺川緑地の「みどり」が飛び込んできます。この一角は自然に恵まれた大小の木々、飛び交う各種の野鳥、野草にも恵まれ、川の「せせらぎ」が、武蔵野台地の面影を残してくれているのに気付かれる方も多いのではないのでしょうか。



# みどりのイベント

5月21日に柏の宮公園（浜田山2-5-1）にて



**わくわくティーショップ**  
わくわく畑で収穫した  
ハーブ茶とお菓子で一休み。

みんなでつくる・参加するイベント「みどりのイベント」が柏の宮公園で開かれました。みどりのボランティア杉並のいろいろな活動グループや、区内の造園事業者、区などによる24種類ものイベントが集まったものです。幸い、さわやかな五月晴れに恵まれ、やっと歩き始めた幼児からお年寄りまで、参加した人たちは思い思いに楽しんでいました。子ども達には竹細工や枝の輪切りで名札を作るコーナーが人気を集め、熟年組は剪定教室や緑陰サミットなどに集まる姿が見られ、井草森公園のクマザサを使った笹茶が振舞われていました。



**樹木観察と樹名板付け**  
観察会の前に  
笹茶のサービス。



**木工・竹細工**  
竹を切って  
竹ぼつくりづくり。



**木登り体験**  
いつもは登れない公園の木。  
高いところまで登ったよ。



**木のキーホルダーづくり**  
枝の輪切りにお絵かき。  
何を描こうかな。



**犬ともだち・はじめて教室**  
ワンちゃんと  
ともだちになれたよ。



**みんなで遊び隊**  
ペットボトルを使って  
キックボウリング。



**第2回緑陰緑地サミット**  
涼しい木陰で  
みどりについて話し合い。



**犬のしつけ教室**

**ミニピオトーブづくり**  
オタマジャクシを卒業した  
ばかりのカエルがもらえたよ。



**草花・植木即売**

## 緑の歳時記

### センダン

(センダン科) < 栴檀、棟 >  
別名オオチ、オウケ



花のツボミ



実

種子

公園や神社などに、また街路樹としてよく植えられます。樹皮は紫黒褐色で縦に割目が入ります。葉は大形の奇数2~3回羽状複葉で互生し、小葉は長さ3~6センチの卵形または卵状楕円形で先は長くとがり、基部はゆがみ、ふちには不ぞろいの鈍鋸歯があります。5~6月、淡紫色の小さな花を多数つけます。果実は長さ1.7センチほどの楕円形で10月頃黄色に熟します。

名前はセンダマ(千珠)の意味で実のつき方が数珠を連ねたように見えることからつけられました。

センダンは古くから親しまれ、万葉集でも「アフチ」として四首詠まれ、唱歌で有名な「夏は来ぬ」(佐々木信綱作詞)の四香に棟(オウチ)として出てきます。

材は木目が美しく建築、家具材、楽器材に用いられ、果実は乾燥して「果棟子」といわれ腹痛にきく漢方薬となり、樹皮は「果棟皮」といって虫下しの薬となります。

なお「栴檀は双葉より芳し」のセンダンはこの種ではなくビャクシン科の香木ビャクダンのことです。

杉並区内では井草森公園、柏の宮公園、善福寺公園(上池)、荻窪八幡神社などで観察することができます。

伊豆半島以西、九州、四国、沖縄、台湾、中国などの暖地の海岸近くに自生する高さ5~15メートルになる落葉高木です。ときには30メートルに達するものもあります。

## みどり探訪

杉並のみどりとそれに関わる方々をご紹介します。



### 『ブンゲンス・ガーデン』 オーナーの街に寄せる想い

五日市街道近く、松ノ木三丁目にひとときわ目をひく集合住宅があります。

フィトンチットに溢れるコニファーの植えられた外周、広大な敷地でなくともオープンな印象を受けます。マンション名は、美しい青銅色のコニファーに魅せられたオーナーがマツ科トウヒ属の学名「ブンゲンス」から取ったものだそうです。青銅色は窓枠にも見られ、建物全体の色が統一されています。

「梅里地域の緑も減りつつある。ここから少しでも地域の緑を増やしていければと思って。」と、オーナーの方は話して下さいました。

ここが緑化モデルとなり、また、地域のみどりとともに育ってほしいと思います。

# 園芸ワンポイント 椿の挿し木

緑に関する専門相談は  
塚山公園みどりの相談所  
くさばな  
☎3302-9387  
(毎週土・日曜日)

今年は昨年の夏の異常な暑さのため椿を始め、どの植物も花付きがよく、見事な花を楽しみました。そのみごとに綺麗に咲いた椿を増やしてみませんか。挿し木の時期としては春、夏、秋と出来ますが夏(7月下旬~8月上旬)この時期が一番活着がよいのです。

### 挿し穂

今年のびた新梢が固まった7月下旬~8月上旬夏季剪定をかねて切り透かしを行う時に、今年伸びた枝の先端から15cm~20cm位の枝(半熟枝)を切り、水を入れた容器につけておく。

### 挿し穂の調整

上部の葉を数枚残し他は葉柄ごと切り取る。枝の切り口を鋭利な小刀で斜めに切り、裏から切り返しを付ける。

### 挿し方と管理

挿し床は深さ10cm位の箱や鉢に鹿沼土や砂など排水のよい材料を入れて挿し、軽く挿し元を押さえて安定させその後十分に灌水しておく。

また挿し穂の切り口に赤土や粘土の小さな団子をつけて挿す団子挿しも伸びの悪い枝などには良い方法です。

### 置き場所

西日や朝日のささない場所が適切です。日が当たってしまう時は寒冷紗またはすだれ等で覆って置く。風通しがあまり良いと乾燥しすぎるので薄い透明のビニールで覆い灌水して管理すれば9月頃には活着が確認できます。

活着したものは11月に入って落ち葉などをかぶせて置き春に定植します。

定植前に着いた花芽は摘んで取り除き花は咲かせないほうがよいです。沢山出来た苗をプレゼントしてはいかがですか？

指導：塚山公園みどりの相談所 澤地 家治 先生



## みどりの計画書って？

初夏を迎え金魚鉢の金魚が涼しげに泳いでいます。このコーナーでは今回から杉並区のさまざまな緑化施策についてご紹介をしていきたいと思ひます。一回目は「緑化計画書」の提出についてお話しします。

みなさんは杉並区に「緑化計画書」というのがあるのをご存知ですか？これは「みどりの条例」に定められているもので、土地の面積が200㎡以上の敷地に、宅地の造成をはじめ、家を建てる場合や、20台以上置く駐車場を設置する場合に事前に提出が必要な書類のことです。主な内容は緑地面積を計算し、そこに植えられる樹木の種類と本数を明記した緑化図面を作成することです。

通常は代理人(ハウスメーカーや設計事務所の担当者の方)が提出してい

ますので、一般の施主の方には「みどりの条例」や「緑化計画書」の内容をよくご存知でない方も多いようです。みなさんが家を建てられる場合のお庭づくりも兼ねた「緑化計画書」の個別相談や既存の樹木、シンボルツリー等、樹木のことも区役所西棟5階6番窓口までお気軽にご相談ください。これを機会にみどりの保全にご協力願えれば幸いです。

次回は風致地区についてお話したいと思います。



### ご意見・ご感想等をお寄せください。

みどりとひとでは読者の皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、紹介したいみどり等ございましたら下記の連絡先までお願い致します。

## <編集後記> 「みどりとひと」は「みどりのボランティア杉並」と協働で編集をしています。

- ◆新緑の5月、緑が一番美しい季節です。131号が読まれる頃、立派な葉となっていることでしょう。(青)
- ◆昨年秋、試験的に作った腐葉土が曲がりなりに土として再利用できるようになってきました。(淳)
- ◆外来杉緑化、の経緯をいろいろお聞きしました、何処かでお伝えしたい、と思ひます。(井)
- ◆コゴメウツギ、ミツバウツギ、マルバナウツギ、ウツギ、ヒメウツギなどいわゆるウノハナの咲く季節になりました。白い花は清々しく、気持ちのよいものです。(山)
- ◆青銅色の針葉樹-ブンゲンス-始めて見ました。他にも様々な針葉樹が同じ敷地に植えられていました。(吉)
- ◆編集に携わり、この新聞が公共のものだと痛感し、公平で公正であることの難しさを痛感しております。(松)
- ◆善福寺川...昔は武蔵野台地の豊富な湧水溢れる流れが...今はコンクリートで固められ、自然のない無味乾燥の川に...残念ですね。(木)

みどりの新聞 131号 平成17年7月8日発行

【編集】みどりのボランティア杉並  
【編集・発行】杉並区都市整備部公園緑地課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111  
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/



この印刷物は、大豆インクを使用しています。また、古紙配合率100%再生紙を使用しています。